【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成30年3月15日(2018.3.15)

【公表番号】特表2017-510387(P2017-510387A)
【公表日】平成29年4月13日(2017.4.13)
【年通号数】公開・登録公報2017-015
【出願番号】特願2016-561854(P2016-561854)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｂ　8/14　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｂ　8/14

【手続補正書】
【提出日】平成30年1月29日(2018.1.29)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
超音波プローブとインタフェースする第１のコネクタと、
超音波コンソールとインタフェースする第２のコネクタと、
前記第１のコネクタを前記第２のコネクタに接続するラインアレイと、
前記ラインアレイの１又は複数のライン上の信号に応じて、フレームトリガ信号を生成するフレームパルス生成器と、
前記ラインアレイ上のライン信号に応じてライントリガ信号を生成するラインパルス生成器と、
前記フレームトリガ信号を出力する外部フレームトリガ信号出力と、
前記ライントリガ信号を出力する外部ライントリガ信号出力と、
を有するアダプタ装置。
【請求項２】
前記第１のコネクタ及び前記第２のコネクタの少なくとも一方が、他の信号プロトコルとのインタフェース互換性を可能にする信号コンバータを有する、請求項１に記載のアダプタ装置。
【請求項３】
前記第１のコネクタ及び前記第２のコネクタの少なくとも一方が、ワイヤレスリンクを有する、請求項１に記載のアダプタ装置。
【請求項４】
前記外部フレームトリガ信号出力及び前記外部ライントリガ信号出力が、ワイヤレスリンクを有する、請求項１に記載のアダプタ装置。
【請求項５】
前記第１のコネクタを前記第２のコネクタに接続する前記ラインアレイは、前記プローブと前記コンソールとの間の直接的な接続を維持する、請求項１に記載のアダプタ装置。
【請求項６】
前記フレームパルス生成器又は前記ラインパルス生成器が前記ライントリガ信号及び前記フレームトリガ信号をそれぞれ出力することを可能にするために、前記プローブからのトランスデューサ信号遅延を期待される遅延と比較する遅延プログラムを更に有する、請求項１に記載のアダプタ装置。

【請求項７】
前記アダプタ装置のオンボード素子に電力供給する電源を更に有する、請求項１に記載のアダプタ装置。
【請求項８】
前記プローブからの入力信号を処理する処理ユニットを更に有する、請求項１に記載のアダプタ装置。
【請求項９】
前記処理ユニットは、前記入力信号を符号化する処理、前記入力信号を復号化する処理、前記入力信号を多重化し又はルーチングする処理、及び前記入力信号に対する計算を実施する処理のうち少なくとも１つを実行する、請求項８に記載のアダプタ装置。
【請求項１０】
前記アダプタ装置に結合されるライン又はケーブル上の電流を検出し、前記検出された電流に基づいて前記ライントリガ信号又は前記フレームトリガ信号を評価するラインセンサを更に有する、請求項１に記載のアダプタ装置。